



(提供先：古河市観光協会)

## 今月の1枚

# 古河桃まつり

古河総合公園は、1455年に初代古河公方・足利成氏が築いた「古河公方館」史跡にちなみ、そのまわりを囲むようにあった沼(現：御所沼)を復元し、1975年に都市公園として開園しました。

公園の設計監修は、東京工業大学名誉教授で景観学者の中村良夫氏が担当しました。設計コンセプトは、「市民が集い、自主的運営の意識を高めることができる場所」です。1999年に古河市は、全国に先駆けて市民が公園の主人公となるような管理・運営を推進する「パークマスター制度」を創設しました。このような取組みが認められ、2003年、世界の主要な文化景観の保護と管理を目的とした活動に対して贈られる「メリナ・メルクーリ国際賞」を受賞しました。

公園内には、古河公方館史跡等の茨城県指定・国指定の重要文化財が多数保存されています。また、約1,500本の桃の木が植えられています。この桃林は、古河城主・土井利勝が、燃料にも食料にもなる桃の木を領土内の農民に育てさせたとされる「古河桃園」を再現したものです。

毎年、公園では、3月下旬から4月上旬にかけて「古河桃まつり」が開催されており、今年で39回目を迎えます。この時期は、矢口・源平・菊桃・寿星桃・寒白桃の5種類の桃の花が、公園をピンク色に染め上げます。

桃まつり期間中は、“桃むすめ”たちが、来場者を出迎えてくれます。また、伝統芸能やダンスステージ、熱気球体験や人力車の園内走行、野点や郷土物産品販売など多数のイベントが催され、毎年多くの来場者で賑わいます。

桃の花が満開になる頃、かわいい桃の花と甘い香りに包まれながら、ご家族・ご友人とご一緒に、公園内を散策されてみてはいかがでしょうか。  
(筑波総研株式会社 研究員 富山かなえ)



◆所在地：茨城県古河市鴻巣399-1  
アクセス：【車】東北自動車道 館林ICより約20分  
久喜ICより約30分  
【電車】JR宇都宮線・湘南新宿ライン  
「古河駅」より徒歩約35分  
※期間中は有料臨時バス運行あり

【第39回古河桃まつり】(2015年3月20日(金)～4月5日(日)開催)についてのお問合せ：古河市観光協会 TEL:0280-91-1811